**目的**酸化銀を加熱すると，もとの物質とは性質の異なる物質ができることを確かめる。

**準備**酸化銀(1.0g)，試験管(2)，試験管立て，ゴム栓つきガラス管，ゴム管，ガラス曲管，スタンド，

ガスバーナー，水槽，ゴム栓，薬さじ，電子てんびん(または上皿てんびん)，線香，マッチ，

乾電池，導線，豆電球，薬包紙，金づち，安全眼鏡

方法　①　酸化銀1.0gを乾いた試験管に入れ，中火で加熱し、発生する

気体を水上置換法で集める。（１本目の試験管に集めた気体は

捨てる。)

②　酸化銀の変化のようすを観察する。

③　集めた気体に火のついた線香を入れる。

④　試験管が冷めてから，試験管の中に残った物質をとり出し，

性質を調べる。

・試験管からとり出して，しっかり押し固めてから薬さじでこする。

（道具があれば金づちでたたいてみる。）

・豆電球と乾電池を使って，電気を通すかどうか調べる。

結果

①試験管の中ではじめ黒い粉末だった酸化銀はどうなりましたか？

**黒色→　銀　色**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　つまり　　銀　　が残った。

②発生した気体にはどのような性質があったかな？線香の火はどうなりましたか？

**明るくついた**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　つまり　　酸素　　が発生した。

まとめ・感想

　　　酸化銀を加熱すると、　　銀　　と　　酸素　　に分解できた。

酸化銀　　**→**銀**＋**酸素

　　金属に共通な性質



　①（　　金属光沢がある　　）　②（　　熱や電気を良く伝える　　）　③（　展性・延性がある　）

　　２年　　組　　番　氏名